



Close up 2 美しい知恵 人へ、地球へ。

# 「SAVE the BLUE® プロジェクト」でアジアの海を守る

沖縄には世界一のサンゴ礁があるとされています。しかし、地球温暖化の影響により絶滅の危機にさらされているのが現状です。コーセーは未来に美しい自然を残すために、「今できることを」と考え、2009年の夏から、SAVE the BLUE® プロジェクトをスタートさせました。この活動は2013年で5年目を迎え、沖縄の海から世界の海へと広がりはじめています。

## 地球温暖化による海の生態系破壊

サンゴ礁には海の生物の4分の1が暮らしていると言われており、そこに棲む生き物たちにとって無くてはならない存在です。同時に、サンゴ礁は温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収する機能を持ち、人間である私たちにとってもかけがえのない大切な宝物です。しかし、沖縄本島付近の海のサンゴ礁は、温暖化による白化現象やオニヒトデの発生等が原因となり、10年前と比較すると10分の1程度に減少しています。このような状況が、沖縄の海も含めて地球規模で起こっています。

## 全国各地から集まるサンゴ大使

2012年からは寄付に加えて、「サンゴ大使」として社員や販売に携わるスタッフ自らが沖縄を訪れ、サンゴについて理解を深める活動を始めました。温暖化による海の変化や海とサンゴの関係を学んだうえで、サンゴの養殖はどのように行われているのかを実際に見て体験し、SAVE the BLUE®の活動を深く知ることが目的です。サンゴ大使は「美しくなることで地球にも貢献できる」ということを理解し、全国各地に戻った後、お客さまや他のスタッフたちにその思いをお伝えしています。



(左) 全国各地から集まった「サンゴ大使」  
(中) 株分けしてサンゴを増やしていく  
(右) サンゴの苗

## VOICE

### SAVE the BLUE® の輪を広げる「サンゴ大使」



コーセー化粧品販売会社 前橋支店 龍見 由梨

2012年10月に「サンゴ大使」として沖縄を訪れました。サンゴの養殖を行っている「海の種」でサンゴの株分けを体験しましたが、水質や温度管理を徹底し、養殖して植え付けを行う作業は気が遠くなるほど大変なことだと知りました。今までSAVE the BLUE®の活動は自分とは遠い存在でしたが、この体験を通してサンゴに対して愛おしさが生まれ、体験後は環境問題について自分の言葉でお客さまや周りのスタッフに伝えられるようになりました。お客さまからは「とてもよい会社ですね」と言われますし、商品をご購入いただいた時にも「これで私も貢献できた？」と嬉しそうにされる方が多くいらっしゃいます。これからもSAVE the BLUE®活動の輪を広げ、後輩にも沖縄へ足を運んでもらいたいと思っています。

体験を記録したサンゴアルバム



## 雪肌精によるSAVE the BLUE®プロジェクト

夏のキャンペーン期間中、対象商品の雪肌精をお買い上げごとに、その底面積分のサンゴを植え付ける費用を沖縄の有限会社海の種に寄付するものです。

- 対象期間** 2013年7月1日～8月31日
- 対象商品** 雪肌精 シリーズ 化粧水・乳液(雪肌精 シュープレム、雪肌精 エクストラ含む) ※ミニミニ除く  
雪肌精 サンプルテクター、雪肌精 ホワイトBBクリーム  
雪肌精 シュープレム ホワイトニング ハーバル オイル  
雪肌精 シュープレム パウダーファンデーション(レフィル)  
雪肌精 シュープレム ホワイトニング リキッドファンデーション



(上) 販売店などで活動と呼びかけるポスター  
(左) キャンペーン期間中だけ特別デザインで発売

## クリーンピックにも参加

「サンゴ大使」が沖縄を訪れた際には、海辺のごみを制限時間内にできるだけ多く集める「クリーンピック」に参加しました。「クリーンピック」とは、クリーン(清掃)とオリンピック(スポーツの祭典)を掛け合わせた造語で、有限会社海の種の金城浩二氏によって発案されたものです。これまでボランティアや一部の有志で行われてきたビーチクリーンなどの清掃活動を、ルールと競技性を持ったスポーツに変え、誰でも参加でき、楽しんで競い合いながら、海や山をきれいにするというゴミ拾いのスポーツ大会です。



(上) 車のタイヤや流木など多くのゴミが集まった  
(左) 楽しみながら清掃活動する参加者

## 海外にも広がるSAVE the BLUE®プロジェクト

2012年より、海外の6つの国と地域でもSAVE the BLUE®のキャンペーンをスタートしました。ASEAN各国では現地のサンゴ保全に取り組み、その他の国ではそれぞれの自然保護活動を支援しています。

<p><b>中国</b></p> <p>雪肌精キャンペーンボトルの売上の一部をNPO団体のGreenLife(緑色生命)に寄付しています。その寄付金は内モンゴルの砂漠の緑化を目的とした、苗木の植樹に活用されます。現地社員が植樹に参加するほか、抽選で希望するお客さまにもご参加いただいています。</p>	<p><b>香港</b></p> <p>海洋保全活動などに取り組む環境保全団体WWF(World Wide Fund for Nature) Hong Kongに寄付しています。2012年5月、タイムズスクエアにて雪肌精のプロモーションを行った際にはWWF Hong Kongの代表が環境保護に関するスピーチを行い、活動の詳細を紹介しました。</p>	<p><b>台湾</b></p> <p>2012年度は昨年に引き続き、Kenting National Park(墾丁国家公園)が管轄する海の清掃などの活動を行いました。さらに、National Museum of Marine Biology &amp; Aquarium(国立海洋生物博物館)が行うサンゴの増殖を支援し、台湾の海を守る活動を進めています。</p>
<p><b>シンガポール</b></p> <p>政府組織 National Parks Boardにおいてサンゴ保全の第一人者であるDr. James Guest氏を支援しています。2012年6月には伊勢丹モールにて雪肌精のプロモーションイベントを行い、SAVE the BLUE®活動に関する認知を広げる取り組みを行いました。</p>	<p><b>タイ</b></p> <p>海洋保全と回復のための政府機関 Dep. of Marine &amp; Coastal Resourcesを支援しています。この機関では水質調査やサンゴの養育調査、サンゴの養殖・増殖活動など、幅広い活動を行っています。2012年度は地域の子供たちと一緒にパタヤビーチの清掃も行いました。</p>	<p><b>マレーシア</b></p> <p>1996年にアメリカで創設された世界最大のサンゴ保全NGO、Reef Check。2007年にはマレーシアに拠点が設けられ、海洋調査やサンゴの養殖活動を積極的に展開しています。これからもコーセーマレーシアでは同組織に寄付を行い、その活動を支援していきます。</p>